

本間金之助の慈善学校独力創設の背景について

—— 感恩講史の考察 ——

戸 田 金 一*

A Study on a Legal Case Against KANNONKOU

—— Historical background of Hukuden primary school ——

Kin-ichi TODA

Abstract

Most of the charitable works, generally speaking, have been maintained by the propertied class. This sort of work by Kannonkou, a charitable institute situated in Akita, was not an exception. Hukuden charity primary school, however, was established and run by Honma Kinnosuke alone. Why was it possible? My study will answer the question by explicating a lawsuit against Kannonkou raised by its opponets.

Keywords: Charity school, Social welfare, Hukuden primary school, Kannonkou

1. 課題の設定

筆者はこれまで、本間金之助が秋田市に 1895 年創設した福田(ふくでん)小学校について、その閉校後における福田会活動の紹介をもふくめて、考察をすすめてきた¹⁾。そして今やこの慈善学校が設立された歴史的評価について、単に教育史の視点においてだけでなく、一般史の視点をも加えて総合的に考察すべきであると考え²⁾。

というのは、これまでもっぱら福田小学校ないし福田会に関わる内容を一次史料によって考察してきたが、この制約を解くことによって広く多角的な考察が可能になる。たとえば、思い付くままであるが、考察してみたいものを列挙すれば次の通りである。

- ① 国の就学奨励政策の地方における実施と慈善学校存置との関連³⁾。
- ② それに関わるものとして住民の側の教育

需要が貧民層へも及んでいく実態⁴⁾。

- ③ 秋田では学制期に飽田仁恵学校が短期間(1875～79)設置されたが、それと比較して福田小学校が 32 年間にわたる長期間存続できた各社会的背景の相違⁵⁾。
- ④ すなわち他地方(県)に見ない秋田のみに慈善学校が長く存続した背景(理由)⁶⁾。
- ⑤ また東京に仏教徒の全国的慈善団体「福田会」が設立され、1879(明治 12)年には育児園(孤児院)を創立し、その後長く活動を続ける⁷⁾のであるが、福田という同じ仏教思想(呼称)から推測される同会の秋田への影響の有無。
- ⑥ さらに慈善学校の創設事業が秋田の資産家多数によらず、本間一人の独力でなされたのはなぜか。かれの財力のためによるとのみでは言いきれない背景(理由)の存在。
- ⑦ なおすでに取り上げてはいるが⁸⁾、視点を新たにして本金商店における教科書の販売とりわけ福田小学校設立直前の教育書刊行との関係。

平成 12 年 10 月 13 日受理

* 総合教育センター・教授